

レッドデータブック勉強会 『標本が語る京の水辺の原風景（仮題）』

きょうと生物多様性センターでは、京都の伝統・文化や暮らしを支えてきた「京都の自然の恵み」を守り、次世代につないでいくため、様々な取組を展開しています。

この度、府内に生息・生育する野生生物の現状を学ぶため、自然環境保全京都府ネットワークと連携し、レッドデータブック勉強会「標本が語る京の水辺の原風景（仮題）」を開催します。

また、同時に、セミナー会場である京都市青少年科学センターとコラボし、常設展示『京都府レッドデータブックの生物標本展 ～「絶滅した」・「絶滅のおそれのある」生き物たち～』を実施し、失われた「巨椋池」の名を冠する水生植物「オグラノフサモ」の標本ほか、京都レッドデータブック 2015 に掲載されている生物の標本を展示していますので、是非、お越しください。

【日時】 令和6年1月28日（日） 13:00～16:20

【場所】 京都市青少年科学センター 展示場2階多目的室
(〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13番地)

<http://www.edu.city.kyoto.jp/science/access/index.html>

【料金】 無料（※ただし、会場である京都市青少年科学センターへの入場料 520 円が必要）

【講師】 細谷和海氏（近畿大学名誉教授、京都府 RDB 淡水魚類分科会総括、きょうと生物多様性センター運営協議会副会長）

【申込】 令和6年1月26日（金曜日）〆切

（※なお、定員に達した場合は早期に締め切ることがあります。）

申込みは、以下の申込フォームから申し込んでください。

<https://www.shinsei.elg-front.jp/kyoto2/uketsuke/form.do?id=1704756927058>

（※ なお、申込が定員に達しないときは当日受付もさせていただく予定です。）



【内容】

- | | |
|-------------|---|
| 12:30ー | 受付開始 |
| 13:00ー13:05 | 開会挨拶（竹門康弘会長） |
| 13:05ー14:40 | 細谷和海氏講演『淡水魚類：標本が語る京の水辺の原風景（仮題）』 |
| 14:40ー14:50 | 質疑応答（14:50ー15:00 休憩） |
| 15:00ー15:30 | 青少年科学センターの職員による『京都府レッドデータブックの生物標本展 ～「絶滅した」・「絶滅のおそれのある」生き物たち～』の見学・説明 |
| 15:30ー16:15 | 参加者同士の意見交換 |
| 16:15ー | 閉会挨拶 |

申込用QRコードはこちら



【主催】 自然環境保全京都府ネットワーク

（問合：京都府 自然環境保全課 075-414-4706、mail: shizen-kankyo@pref.kyoto.lg.jp）

【共催】 きょうと生物多様性センター（予定）

